

# 藤環協だより

発行日 2024年3月10日  
編集発行 藤枝市環境保全協議会  
発行責任者 広報事業部 渡辺 睦巳(松林工業薬品株)  
事務局 藤枝市環境水道部生活環境課内  
〒426-0026 藤枝市岡出山2丁目15-25  
Tel 054-643-3681(直通) Fax 054-631-9083

藤枝市環境保全協議会 広報事業部

## 脳トレ漢字クイズ 正解者の中から抽選で5名の方にQUOカード1,000円分をプレゼント! 第57号の答えは、「エコドライブ」でした。たくさんのご応募ありがとうございました!

●応募方法:専用の応募用紙に必要事項を記入し、各事業所の担当者を通じて、または、藤枝市生活環境課(kankyo@city.fujieda.shizuoka.jp)まで、電子メールにて提出してください。●締め切り日:令和6年3月29日(金)●正解発表:藤環協だより第59号に掲載いたします。※当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

★ ①～⑥の漢字の読みをカナで右の空欄に入れてください。□のカナを並び替えてクイズの答えを導き出しましょう!

- ① 眼張 → □□□□  
ヒント:丸く大きな目が張り出して見えることから、この名前と呼ばれるようになった魚です。
- ② 鳳梨 → □□□□□□  
ヒント:沖縄県といえば、この果物。外国では、タイやフィリピン等が代表的な産地です。
- ③ 葡萄 → □□□□  
ヒント:丸い実がいくつもなる果物です。種がない品種もあります。
- ④ 栗鼠 → □□□□  
ヒント:小さな体と長い尻尾が特徴的な動物です。栗やクルミ等、木の実を食べます。
- ⑤ 卵糖 → □□□□□□  
ヒント:甘くてふわふわしたお菓子です。長崎県の名物としても知られています。
- ⑥ 山茶花 → □□□□□□  
ヒント:11月、12月に花を咲かせる数少ない植物です。ツバキの花に似ています。

Q 衣服の生産から着用、廃棄に至るまでが、将来にわたり持続可能であることを目指し、地球環境や関わる人、社会に配慮した取り組みを□□□□□ファッションと言います。□に当てはまる言葉は、何でしょう?

### 令和5年度 藤枝市環境保全協議会役員

会長	大村 悦史	(株)鈴木鉄工所
副会長兼広報事業部長	渡辺 睦巳	松林工業薬品(株)
広報事業副部長	磯部 敏輝	(株)テクノフローワン
研修会事業部長	徳原 佳久	藤枝製紙(株)
研修会事業副部長	古口 尚	(株)静環検査センター
社会活動事業部長	杉浦 義久	(株)城南メンテナンス
社会活動事業副部長	石田 富雄	(株)バスクリン

### 会員紹介

- 科研製薬(株)静岡工場
  - (株)カナック
  - (株)志太紙業
  - (株)城南メンテナンス
  - (株)鈴木鉄工所
  - 住友ベークライト(株)静岡工場
  - 住友林業クレスト(株)静岡工場
  - セイン商事(株)木内アスコ藤枝工場
  - (株)静環検査センター
  - 中外製薬工業(株)藤枝工場
  - (株)ツムラ静岡工場
  - (株)テクノフローワン
  - (株)ニチビ静岡工場
  - 日清紡テキスタイル(株)藤枝事業所
  - (株)バスクリン
  - 藤枝製紙(株)
  - 松林工業薬品(株)
  - (株)村上開明堂
  - (株)明治東海工場
  - 藤枝市生活環境課(事務局)
- 50音順(全19社+1団体)

### 編集後記

2023年、今まで考えられなかったような環境変化がありました。コロナ禍からの回復にともなう供給制約、ロシアによるウクライナ侵略をきっかけに、エネルギーや原材料価格高騰、為替の変動により、私たちの暮らしに身近な商品の値上がりで家計の負担が大きくなっています。このまま物価上昇が続けば子供たちのお小遣いで買える物にまでも物価上昇の魔の手が及ぶかも知れません。そうならないように良い方向へ進んでほしいと思います。(T.I.)

### 広報事業部

- 部長 渡辺 睦巳 (松林工業薬品(株))
- 副部長 磯部 敏輝 (株)テクノフローワン
- 部員 川西 英吾 (株)ニチビ 静岡工場)
- 菅原 剛博 (科研製薬(株) 静岡工場)
- 中道 聖 (住友ベークライト(株) 静岡工場)
- 吉田 光明 (株)村上開明堂)



撮影地:小笠原諸島 兄島付近 カメラ:ニコンスV15mm フィルム:フジクロームベルビア 文章:住友ベークライト(株)静岡工場 環境管理部 内田 良次

### ミナミハンドウイルカ

誕生以来一度も大陸と接したことの無い小笠原諸島では隔絶されていたがゆえに独自の進化を遂げた動植物が多いといわれています。海洋域では固有の魚類も多数おり、少し沖に出れば鯨類も多種生息しています。このハンドウイルカ(バンドウイルカと呼ばれることもあります。)にも高確率で出会うことができます。瞬間的には時速60km以上で泳ぐこともできる泳ぎの達人で、傷ついた仲間を助けようとする行動等も目撃されており、知的で社会的な動物であることがよく知られています。

### 目次

令和5年度 オンライン工場見学	2	私の一言	5
令和5年度 藤環協講演会	3	脳トレ漢字クイズ	6
地域貢献事業～瀬戸川河川清掃～	4	役員及び会員紹介	6
「もったいない」市民のつどいを開催しました	4	編集後記	6
私の趣味	5		



※この印刷物は大豆油インキを使用しています。



## 令和5年度 オンライン工場見学

藤枝市環境保全協議会では、昨年度に引き続き、オンラインにて2つの企業の工場見学を行いました。

日時：令和5年 11月9日(木)  
14時～15時  
視察先：サントリー リサイクル・プラザJB  
(埼玉県さいたま市)  
内容：飲料空容器のリサイクル  
工程の紹介等



今回ウェブで工場見学をさせていただき、まず思ったのが、いつも何気なく捨てているペットボトルが、ゴミではなく大切な資源だということです。実際に自分の目でリサイクルの現場を目の当たりにする事で、「分別」の重要性を再認識させていただきました。

特に「ボトルtoボトル」水平リサイクルすることにより使用済みのペットボトルから新たなペットボトルを生み出し、リサイクルの輪を途切れさせないという取り組みには感銘を受けました。

従来はペットボトルを食品トレーや繊維等に再利用しても、使用後は焼却処分されてリサイクルは途切れてしまいます。しかし、水平リサイクルにより何度でも再生し循環させることが可能となり、これからの石油由来資源およびCO2の削減に繋がると思いました。

身近にある自動販売機横に置かれている回収ボックスから既にリサイクルの輪は始まっています。そして、私たち一人一人がその担い手であることを忘れずに生活していくべきだと強く感じました。

日時：令和5年 11月15日(水) 14時～14時45分  
視察先：ハウス食品(株)静岡工場(静岡県袋井市)  
内容：レトルトカレー工場中継等

今回はハウス食品国内6工場のうち最も敷地の広い静岡工場を見学させていただきました。私の中でハウス食品は、バーモントカレーやとんがりコーン等馴染みのある会社です。見学ではレトルトカレーの製造に関する工夫や衛生管理面での徹底した対策、リサイクルの取り組み等を、クイズも交え楽しく解説いただき、とても有意義な時間を過ごせました。

見学をする中で食品ロスが日本で年間522万t(東京ドーム約4.2杯分)もあることに驚きました。一般家庭47%、企業53%とほぼ半分が一般家庭、つまり私たちが出しているのです。企業側の対策として、製造過多の防止やフードバンクへの寄付等が行われています。

しかし私たち一般家庭はそこまで食品ロスに関しての意識は高くないと感じました。思い返せば自分が調理等する際に、まだ使えるような食材を破棄していたような気がします。

今回の見学で食品ロス問題に触れることで、日常生活を見直すいい機会をいただけたことに感謝致します。



▲見学した静岡工場



▲レトルトカレー工場での材料の自動計量

(株)静環検査センター 環境営業課 土屋 靖人(研修会事業部)



## 笑って考える環境保全と地球温暖化 ～思いは地球規模で行動は足元から～

日時：令和6年 1月31日(水)  
13時30分～15時  
場所：藤枝市生涯学習センター 第1会議室



### 【講師紹介】

### 林家まる子・カレー子

夫婦漫才(環境漫才)の林家ライス・カレー子のライス氏が2018年に死去。その後、長女でタレントの林家まる子とコンビを組み、2018年8月林家一門会の高座にてデビュー。現在、環境啓発、社会福祉問題、防災、防犯、環境問題、食品ロス等をテーマに母娘漫才で活動中。



▲講演会中の様子



▲「環境かるた」の説明

例年の研修講演会は、専門家の方々から、環境問題について学ぶ講演でしたが、今年は、漫才コンビ(母娘漫才)「林家まる子・カレー子」の環境漫才、『笑って考える環境保全と地球温暖化 ～思いは地球規模で行動は足元から～』、楽しく、笑って学べ、肩ひじを張らない、リラックスした講演でした。

印象に残った言葉は、「環境でも防災でも大切なことは、ABCである。」

A: 当たり前のことを、B: 馬鹿にしないで、C: ちゃんとする

それと、「気候変動は、人間が生活することが原因で起きているのだから、人間が解決出来るはず。」という2つの言葉は、とても共感出来ました。

また、廃棄物問題で、3R(リデュース、リユース、リサイクル)だけではなく、「アップサイクル」があるということを知りました。林家まる子さんは、不要になった種類の異なるデニムを組み合わせデザインされた、おしゃれな衣装を、そして、林家カレー子さんは、不要になったネクタイを15本組み合わせカラフルなデザインのスカートと、ダンスに眠っていた着物の帯を再利用した型崩れしない上着を、それぞれ着用されていました。最初、芸人の方は派手な衣装を着ているなあと思っていましたが、こうして、自ら「アップサイクル」された衣装を着て紹介していただき、リサイクルでも、デザインやアイデアによって付加価値を付けることで、製品のグレードアップが出来ることを知り、廃棄物問題でも、まだまだ出来ることはあるのだと考えさせられました。

講演中、何度も言われていました「思いは地球規模で行動は足元から」を実践していきたいと思う有意義な時間でした。

日清紡テキスタイル(株)藤枝事業所 施設環境保全課 加藤 康誌(研修会事業部)



## 地域貢献事業～瀬戸川河川清掃～

令和5年10月13日(金)に瀬戸川で開催された「第19回清掃美化活動」に参加させていただきました。私自身は、この活動が始まった当初のころにも参加させていただいており、その当時に比べますと拾い上げるゴミの量が大幅に削減されていました。この活動の意義や、近年の意識向上を感じた次第です。

しかしながら、一定量のゴミが拾われた現実がありますので、ゴミが河川等から海洋を汚染する現実を再認識する良いきっかけになりました。

弊社におきましても、全社的な取り組みとして10月に「みんなdeクリーンデー」と称して各地で清掃活動を実施しようという取り組みを行っており、今回の瀬戸川清掃もその取り組みの一環として参加させていただきました。

清掃美化活動は、これからも継続していく活動と思われまますので、微力ながら今後も協力させていただきます。

(株)明治 東海工場 技術部設備環境二課 高田 誠(社会活動事業部)



## 「“もったいない”市民のつどい」を開催しました

本市では、「環境行動都市・ふじえだ」の実現を目指して、平成21年12月に“もったいない”都市宣言を行い、毎年12月を本市独自の環境月間である「“もったいない”推進月間」として、本市で活動する全ての主体がそれぞれに環境について考え、取り組みを実践する期間としています。その取り組みの一つとして、令和5年12月2日(土)に生涯学習センターで「“もったいない”市民のつどい」を開催しました。

当日は、小学4年生対象の“もったいない”ポスターコンクール(環境ポスターコンクール)やグリーンカーテンコンテストの表彰式を行うとともに、キツネやサルなどはく製や、クワガタムシの標本展示による生物多様性の啓発、環境に関する講演会等を行いました。併せて、フードドライブの取り組みも行い、集まった食料品をNPOに寄付しました。

食品ロス削減や生物多様性の保全等、環境に関する課題は多岐にわたります。皆さんの環境への小さな気遣いが大きな効果を生み出しますので、小さなことから環境行動を実践してみましょう。(藤枝市 環境政策課)



▲ポスターコンクール表彰式の様子



▲ポスターコンクール入賞作品 貼付車両の展示

## 私の趣味

私の趣味はランニングです。

子供の頃はマラソンが大の苦手で、学校でのマラソン大会の順位は常に下位10%でした。しかし、結婚を機に妻とランニングを始め、今ではしまだ大井川マラソンや焼津みなとマラソン、藤枝マラソン等、地元のマラソン大会に参加しています。また、タイム向上のためにつくばマラソンや別府大分マラソンに遠征もしています。低山を走るトレイルランニングについても短距離(20km)から長距離(165km)まで幅広くレースに参加し、最近では山登りも始めて、日帰り槍ヶ岳山頂(上高地からの林道を走ります)等を楽しんでいます。

普段の練習は早朝のみです。21～22時に子供たちと就寝、4時過ぎに起床、朝食準備をしながら並行してランニングの準備をし、5時にランニングを開始、6時には帰宅し朝食の仕上げをしながら洗濯をして家族を起こす毎日です。休日は少し朝食の時間を遅らせて、その分長めの練習をしたりしています。毎朝走ることで見ることが出来る朝焼けや日の出、山を走って出会う素晴らしい山の景色等、ランニングは私にとって、なくてはならない趣味となりました。

氏名：萩原 慶幸  
所属：中外製薬工業(株)藤枝工場  
生産技術研究部



## 私の一言

私の勤務する住友林業クレスト(株)静岡工場では、木質系の住宅部材の内装部材を邸別に受注・製造・出荷まで行っている工場です。私の担当している内容は主に安全と環境についての業務内容となります。安全はISO45001を運用し、日々の安全管理を実施。一言で“安全”という言葉がありますように日々の通勤から帰宅するまでの間は“危険”がたくさんあり“安全”な所は無いと疑いながら日々の業務を実施。環境はISO14001を運用し、主に工場から製品を製造する際、木質端材等が発生する為、静岡工場ではその端材の一部を焼却炉で燃焼、事務所内の空調設備に利用する取り組みを実施しております。今年も“労災ゼロ”を目標として、環境と安全に取り組んで行ければと思っております。

氏名：太田 勝己  
所属：住友林業クレスト(株)  
静岡工場 管理部



▲住友林業クレスト(株)静岡工場



▲工場メンバーの皆さん